

令和元年度 科目名 (ビジネス基礎)

シラバス (学習内容、年間指導計画および評価規準・評価基準)

- 1 対象年次、単位数、使用教科書
 2 年次以上 (選択) 3 単位
 教科書、学習書：ビジネス基礎 (実教出版)

2 科目の目標

ビジネスに関する基礎的な知識と技術を修得させ、経済社会の一員としての望ましい心構えを身に付けさせるとともに、ビジネスの諸活動に適切に対応する能力と態度を育てることを目標とする。

3 評価規準 (何を評価するか)

ビジネスの諸活動に広く関心を持ち、その意義や役割の理解及び諸問題の探求を目指して、主体的に学習に取り組むとともに、経済社会の一員としての望ましい心構えや態度を身に付けること。

商業を学ぶ目的や学び方を理解するとともに、ビジネスに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、経済社会におけるビジネスの意義や役割を理解できるようになること。

4 評価基準 (どんな方法で評価するか)

レポート内容の基本的な部分のみ理解されている場合は、理解度に応じて評価 2～3、標準的な部分まで理解できている場合は評価 3～4、発展的な部分まで理解できていると判断される場合は評価 4～5 とする。基本的な部分が理解できていない場合は再提出とする。再提出により合格した場合の評価は 2～3 とする。なお、標準的・発展的な部分でさらに理解を深める意味から再提出する場合もある。この場合、評価は 3 以上とする。

5 試験範囲と試験による評価基準

R1～R3 の範囲で 7 月試験、R4～R6 の範囲で 10 月試験、R7～R9 の範囲で 1 月試験を実施。試験内容はそれぞれ基本的な部分から約 40%、標準的な部分から約 50%、発展的な部分から約 10% を出題し、評価は 30～40 点を 2、41～70 点を 3、71～80 点を 4、81 点以上を 5 とする。なお、29 点以下については再試験とする。再試験問題は、30 点以上を合格とし、評価を 2 とする。

再試験を繰り返してもなお基準点(30点)に達しない場合は 1 とする。(単位認定しない)

6 スクーリングの目標・内容・計画

スクーリングに取り組む姿勢を考慮し、学年末評価の参考資料とする。
 スクーリングは生徒の質問に個別に対応することを基本とする。

No	題目	学ぶこと	教科書 ページ	標準 提出時期	試験日
1	第1章 商業の学習ガイダンス 1 21世紀にはばたく 2 しっかり楽しく学んでいこう	商業を学ぶガイダンス と学習分野について	6～22	4月下旬	第1回試験 (6/30・7/1)
2	第2章 経済生活と流通の基礎 1 経済のしくみとビジネス 2 社会の変化とビジネスの発展	ビジネスについて	23～44	5月下旬	
3	第2章 経済生活と流通の基礎 3 経済活動と流通	流通の役割と特徴について	45～58	6月中旬	
4	第3章 ビジネスの担い手 1 ものの生産者 2 サービスの生産者 3 小売業者	生産・流通について	59～79	7月下旬	第2回試験 (9/29・9/30)
5	第3章 ビジネスの担い手 4 卸売業者 5 物流業者 6 金融業者 7 情報通信業者	各業者について	80～102	8月下旬	
6	第4章 企業活動の基礎 1 ビジネスと企業 2 資金調達 3 企業活動と税 4 雇用 5 企業倫理	企業活動について	104～130	9月中旬	
7	第5章 ビジネスと売買取引 1 売買取引の手順 2 代金決済	売買取引について	132～148	10月下旬	第3回試験 (1/12・1/13)
8	第6章 売買に関する計算 1 売買に関する計算の基礎 2 売買に関する計算の応用	売買の計算について	150～170	11月中旬	
9	第7章 ビジネスとコミュニケーション 1 コミュニケーション 2 ビジネスマナー 3 情報の入手と活用	コミュニケーションや ビジネスマナーについて	169～199	12月上旬	